

事務事業名	企業定着促進事業			担当	産業部 商工観光課 工業係		
政策名	E	地域と産業が調和する活力あるまちづくり			増補版施策名		
施策名	3	工業の振興			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画	真岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ	
法令根拠	真岡市補助金等交付規則・真岡市企業定着促進事業費補助金交付要綱・真岡市工業用地有効利用促進事業費補助金交付要綱					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 年度～ 年度～）	
予算科目	1. 一般会計	7. 商工費	1	1		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ H30 年度～ R4 年度）	
事業概要	市内立地企業の設備投資等を支援することにより企業の定着を図り、本市工業の振興を促進する。補助期間は交付要綱により令和5年3月31日まで。 補助内容 既存工場等の投下固定資産総額1億円以上の基幹的設備投資が対象。当該設備投資に対する固定資産税相当額のうち100万円を超える額を1企業500万円を限度に3年間交付する。						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

① 手段（主な活動） 30年度実績 該当企業への補助金交付事務	⑤ 活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
31年度計画 該当企業への補助金交付事務	ア 企業定着促進事業費補助金交付企業数	社	4	6	3	6	6
	イ 企業定着促進事業費補助金交付額	千円	11,178	14,254	9,675	12,976	19,638
	ウ						
	エ						
	オ						
② 対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 第1～5工業団地、大和田産業団地、真岡商工タウン内に立地する操業実績5年以上の企業	⑥ 対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
③ 意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 市内工業団地内企業の定着により、本市工業の振興を図る。	ア 工業団地立地企業数	社	91	87	89	90	91
	イ 商工タウン立地企業数	社	29	28	29	29	29
	ウ						
	エ						
	オ						
④ 結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 地域経済の活性化	⑦ 成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
⑤ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移	ア 工業団地からの撤退企業	社	0	4	1	0	0
	イ 工業団地内従業員数（非正規を含む）	人	11,045	10,893	11,001	11,249	12,000
	ウ						
	エ						
	オ						
⑥ 総事業費の推移	⑧ 上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移						
	名称	単位	27年度(実績)	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(見込)
投入量	ア 市内の製造品出荷額（市統計課、未集計年度は推定値）	億円	6,154	5,789	5,789	5,789	5,789
	イ						
事業費	ウ						
	エ						
人件費	オ						
	ア 国庫支出金	千円	0	0	0	0	0
総事業費	イ 県支出金	千円	0	0	0	0	0
	ウ 地方債	千円	0	0	0	0	0
総事業費	エ その他	千円	0	0	0	0	0
	オ 一般財源	千円	11,178	14,254	9,675	11,854	19,638
事業費計(A)		千円	11,178	14,254	9,675	11,854	19,638
人件費	ア 正規職員従事人数	人	1	1	1	1	1
	イ 延べ業務時間	時間	30	30	30	30	30
総事業費	ウ 人件費計(B)	千円	126	125	125	125	125
	トータルコスト(A)+(B)	千円	11,304	14,379	9,800	11,979	19,763

② 総事業費の推移								
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0
人件費	事業費	財源内訳	地方債	千円	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0
			一般財源	千円	11,178	14,254	9,675	11,854
			事業費計(A)	千円	11,178	14,254	9,675	11,854
人件費	事業費	財源内訳	正規職員従事人数	人	1	1	1	1
			延べ業務時間	時間	30	30	30	30
			人件費計(B)	千円	126	125	125	125
			トータルコスト(A)+(B)	千円	11,304	14,379	9,800	11,979

③ 事務事業の環境変化・市民意見等	
① この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	平成20年9月のリーマンショック以降の世界的な経済不況や経済のグローバル化による国際間競争、地域間競争により、生産拠点の海外シフトや工場再編が危惧されるようになったことから、平成25年度に創設した。（補助金の交付は平成26年度から）
② 事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどのように変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	リーマンショックや東日本大震災などの影響で企業活動も低迷が続いていたが、国の積極的な経済政策等により、一部で回復傾向も見られるようになった。近年では労働人口の減少等による国内産業の人手不足が問題となっている。
③ この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	

2. 1次評価の部 *原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的妥当性評価	①政策体系との整合性 ・この事務事業の目的は、市の政策体系に結びつくか？ ・意図することが結果(上位施策)に結びついているか？	<input type="checkbox"/> 結びついている <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 企業の定着を促進することは、工業の振興に結びつく。
	②公共関与の妥当性 ・なぜこの事務事業を市が行わなければならないのか？ ・税金を投入して達成する目的か？	<input type="checkbox"/> 妥当である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 企業の定着を促進することは、工業の振興につながり妥当である。
	③対象と意図の妥当性 ・対象を限定・追加すべきか？ ・意図を限定・拡充すべきか？	<input type="checkbox"/> 適切である <input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある <input type="checkbox"/> 意図を見直す必要がある 企業の定着は、工業の振興さらには地域経済の活性化につながり適切である。
有効性評価	④成果の向上余地 ・成果を向上させる余地はあるか？ ・成果の現状水準とあるべき水準の差異はないか？ ・何が原因で成果向上が期待できないのか？	<input type="checkbox"/> 向上余地はない <input type="checkbox"/> 向上余地がある 立地企業の定着が図られており、成果の向上余地はない。
	⑤廃止・休止の成果への影響 ・事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？	<input type="checkbox"/> 影響がある <input type="checkbox"/> 影響がない 企業の撤退等、地域間競争に影響がある。
	⑥類似事業との統合や連携の可能性 ・他に、類似の形態の事務事業はないか？	<input type="checkbox"/> 類似事業がある(類似の事務事業名を記載) <input type="checkbox"/> 類似事業はない
	・類似事業がある場合、その事業と統合したり連携を図ることができるか？	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携ができる <input type="checkbox"/> 他の事業と統合・連携できない
効率性評価	⑦事業費の削減余地 ・成果を下げずに事業費を削減できないか？ (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 工業の振興及び地域経済の活性化に必要な経費であり、削減の余地はない。
	⑧人件費(延べ業務時間)の削減余地 ・やり方を工夫して延べ業務時間を削減できないか？ ・成果を下げずに正社員以外の職員や委託でできないか (アウトソーシングなど)	<input type="checkbox"/> 削減余地がない <input type="checkbox"/> 削減余地がある 補助金交付事務など、必要最小限の人件費であり削減できない。
公平性評価	⑨受益機会・費用負担の適正化余地 ・事業の内容が一部の受益者に偏って不公平ではないか？ ・受益者負担が公正・公平になっているか？	<input type="checkbox"/> 公正・公平である <input type="checkbox"/> 見直し余地がある 受益者負担対象ではない。

3. 改革・改善方向の部

(1) 改革の方向性(改革案・実行計画) <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 見直し(<input type="checkbox"/> : 目的妥当性 <input type="checkbox"/> : 有効性 <input type="checkbox"/> : 効率性 <input type="checkbox"/> : 公平性) <input type="checkbox"/> 統合 <input type="checkbox"/> 継続	(3) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
		削減	維持	増加																				
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 改革、改善を実現する上で克服すべき課題は何か？それをどう克服していくか？																								

4. 事務事業の2次評価結果(事業の総括と事業の方向性)

(1) 1次評価結果の客観性と出来具合 <input type="checkbox"/> 記述説明不足(説明責任不充分) <input type="checkbox"/> 評価内容が客観性を欠く <input type="checkbox"/> 評価内容は客観的と言える	(5) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td></td> <td></td> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト					削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下			
			コスト																					
			削減	維持	増加																			
成果	向上																							
	維持																							
	低下																							
(2) 2次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																								
(3) 2次評価者として判断した今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的絞込み <input type="checkbox"/> 目的拡充 <input type="checkbox"/> 事業統廃合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 予算削減 <input type="checkbox"/> 予算増大 <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) その他2次評価会議で指摘された事項																							